

# 災害に備えて、日ごろから準備を！

関東大震災が起こった9月1日は「防災の日」、その前後一週間の8月30日～9月5日は「防災週間」となっています。

自然災害は、数十年から数百年に一度といった周期で繰り返し起こっています。特に近年は、熊本地震や九州豪雨などの大きな災害が毎年各地で発生しています。本市でも、近い将来必ず起こるといわれている南海トラフ地震をはじめとする大地震や、大雨による土砂災害や河川氾濫などの災害が想定されています。

災害による被害を少しでも減らすには、行政の努力はもちろんですが、災害時に最終的に自分の身を守るのはあなた自身です。自分や大切な家族を守るため、災害に対する知識や判断力を養い、災害に対する備えを普段から心がけておきましょう。

問合先 市民協働課



## 11月5日(日) 午前9時実施!! 泉佐野市大防災訓練

市民のみなさんと一緒に災害に備えるため毎年11月の第一日曜日を「市民防災の日」とし、今年の市民防災の日となる11月5日に「大防災訓練」を行います。

日時 11月5日(日) 午前9時～(2時間程度)

内容

- シェイクアウト訓練(自らの身を守る安全確保行動)
- 避難訓練(場所:市内全域)

市内の全避難所を開設し、地域の自主防災組織が連携して独自訓練などを行います。



## 9月5日(火) 午前11時実施!! 大阪880万人訓練

～屋外スピーカーや携帯電話が一斉に鳴ります～

この訓練を「あなたの命を守る普段の備え」について考えるきっかけにしてください。(病院や会議など鳴ってはいけない場所にいるときは、あらかじめ電源を切ってください。)

実施日 9月5日(火)

時間・内容

- 午前11時 地震発生…庁内放送や屋外スピーカーなどで緊急地震速報を放送します。
- 午前11時3分頃 大津波警報発表(訓練用エリアメール・緊急速報メールが届きます。)
- 午前11時5分頃 泉佐野市から2回目発信(火災の拡大を知らせる訓練用エリアメール・緊急速報メールが届きます)

問合先 府民お問合せセンター(☎06-6910-8001)

※訓練について詳しくはホームページ([http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig\\_top/](http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/))をご覧ください。

減災のてびき  
～今すぐできる7つの備え～

地震、津波、台風、洪水など、自然災害はいつも待ったなし！  
少しでも災害被害を軽減するよう、みんなで力を合わせて日ごろからの備えを！

### その1 災害被害を少なくする「自助」「共助」

大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力ではくい止めることはできませんが、災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。平時から「自分でできること」「家族でできること」「ご近所と力を合わせてできること」などについて考え、いつくるかわからない災害に備えましょう。

### その2 あなたのお宅やご近所は安全ですか？

大地震、津波、洪水などの自然災害が発生した場合の被害のようすや、避難・救援活動に必要な情報が掲載された防災マップ（ハザードマップ）を家族みんなで確認しましょう。もしもの時の防災ガイド（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/jichi/menu/bou/higaisukunaku/gaido.html>）



### その3 あなたのお宅は地震に耐えられますか？

昭和56（1981）年以降に建てられているかどうか、自分の家の強さを知る一つの目安となります。耐震改修促進のための補助制度（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/toshi/toshi/menu/1334904848451.html>）がありますので、耐震診断を受け、その結果に応じた補強を行いましょう。

### その4 災害から命を守る

「家具類の転倒・落下」によって負傷する人の割合が高いことをご存知ですか？少しの時間と工夫によって、あなた自身やご家族を大ケガから守る、家具の転倒・落下防止対策を講じておきましょう。

### その5 日ごろから準備しておきたいもの

防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中に組み込んで、平時に無意識に更新されるものでまかないましょう。安価でどこでも入手しやすいものでないと、定期的に更新したり分散して置くことができません。

### その6 家族みんなで防災会議

災害は、家族がそろっている時に発生するとは限らず、家族がバラバラにいる時に起きる可能性もあります。日頃から必要な準備をしておくとともに、災害が発生したら落ち着いて、避難・安否確認などの行動をとりましょう。



### その7 ふだんからの地域のつながりが大切です

私たちは高齢者や障害のある人などの災害時に弱い立場になる人たち（避難行動要支援者）を支援するために何ができるでしょうか？阪神・淡路大震災において、家の下敷きになった人々の多くを助け出したのは、家族や近所の人たちでした。大規模災害時の救助や避難などには、ふだんの近所づきあいが力を発揮します。

泉佐野市では、この避難行動要支援者の避難支援を円滑に行うため「地域の絆づくり登録制度」を設け、避難行動要支援者ひとり一人の支援者や支援内容を取り決める個別計画の作成などの取組を、地域のみなさんとともに進めています。（<http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/jichi/menu/bou/torikumi/1405313791662.html>）

## 自分たちのまちは自分たちで守る！

### 地域の自主防災活動

地域の町会（自治会）を中心とした自主防災組織が結成されており、地域で行われる草の根防災訓練や昨年の大防災訓練など防災活動に取り組んでいます。



写真は昨年11月の大防災訓練で子供たちが活躍している様子の一コマです。

### 泉佐野市消防団

消防団は、それぞれの仕事を持ちながら、地域防災のために活動する消防組織で、条例定数130人の男性消防団員と20人の女性消防団員の合わせて150人が活動しています。男性消防団員は、5つの地区（日根野・長滝・上之郷・南中・大土）に分団拠点を置き、火災をはじめ大雨などの災害防ぎょ活動を行っています。女性消防団員は、火災予防や応急手当の普及啓発を中心に地域防災訓練などを通して活躍しています。※女性消防団員は、来年4月1日付けで若干名の採用を予定しています。詳しくは広報11月号に掲載します。

